

かがやく子 特別版

令和8年9月16日
滑川市立寺家小学校

「教育活動アンケート」結果を報告します！

7月に、本校の児童・保護者・教員を対象に教育活動アンケートを実施いたしました。この調査を通して、学校運営の目標の達成状況や取組等について評価することにより、組織的・継続的な改善を図ることをねらいとしています。

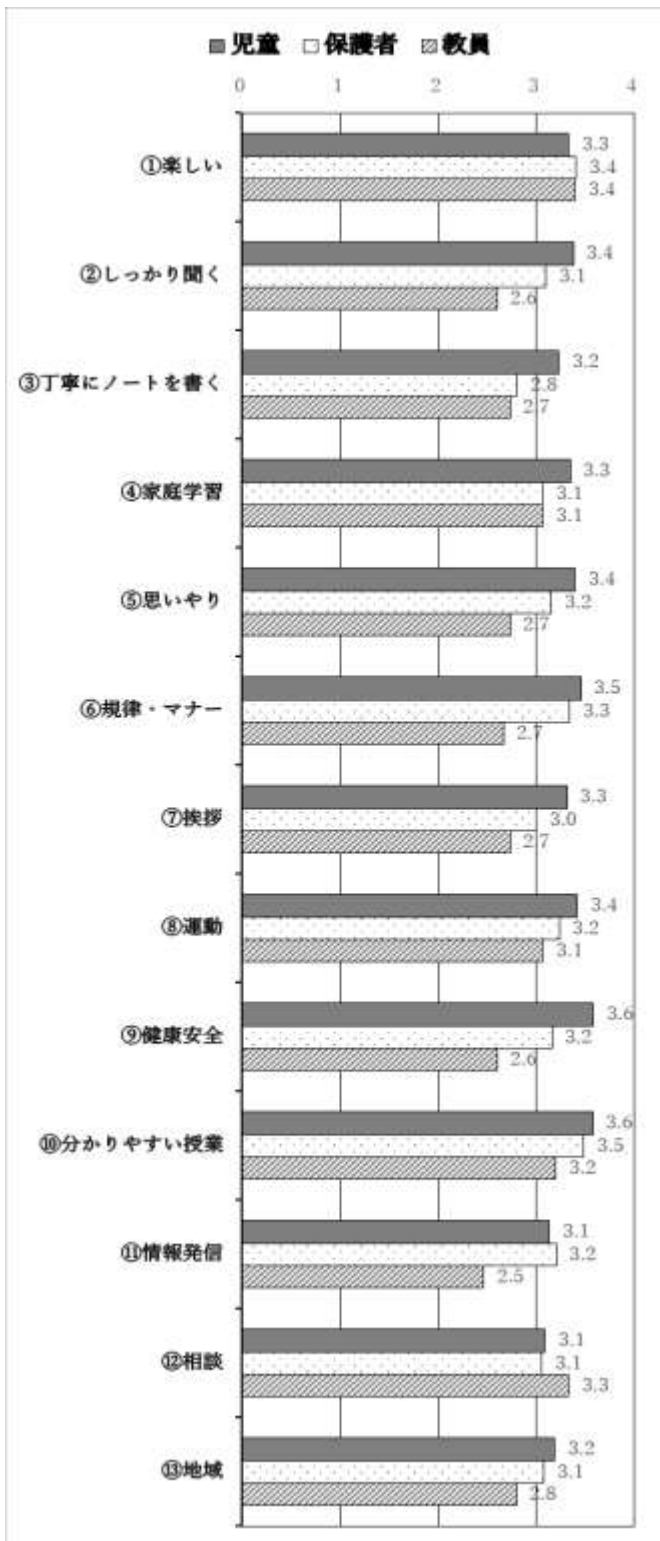
教育活動アンケートの結果

【グラフの見方】 各質問に対する回答を下記のとおり数値化して、調査対象ごとに平均を算出しました。

【そう思う4点 だいたいそう思う3点 あまり思わない2点 思わない1点】

グラフの4.0に近いほど「そう思う」という回答に近いことになります。

【令和8年度前期学校評価アンケート結果】



児童への質問	
1	学校は楽しい。
2	授業中、先生や友達など、人の話をしっかりと聞いている。
3	授業中、丁寧にノートを書いている。
4	宿題をふくめ、家庭学習に取り組んでいる。
5	相手の気持ちを考えて行動したり話をしたりしている。
6	学校のきまりや公共のマナーを守って生活している。
7	家族や友達や先生、地域で会った人に挨拶をしている。
8	体を動かして遊んだり、運動に取り組んだりしている。
9	安全や健康に気を付けて行動したり生活したりしている。
10	先生の授業は分かりやすい。
11	学校でのことを家の人に話している。
12	困ったときや相談したいときに、友達や家族、先生などに相談している。
13	寺家校区の町内の行事に参加したり地域のひとと触れ合ったりして寺家の地域に親しみをもっている。
保護者への質問	
1	お子さんは、学校生活を楽しんでいる。
2	お子さんは、学校で先生や友達の話もしっかりと聞いている。
3	お子さんは、学校で丁寧にノートを書いている。
4	お子さんは、宿題を含め、家庭学習に取り組んでいる。
5	お子さんは、学校で相手の気持ちを考えて行動したり話をしたりしている。
6	お子さんは、学校のきまりや公共のマナーを守って生活している。
7	お子さんは、家族や友達や先生、地域で会った人に挨拶をしている。
8	お子さんは、体を動かして遊んだり、運動に取り組んだりしている。
9	お子さんは、安全や健康に気を付けて行動したり生活したりしている。
10	先生は分かりやすい授業づくりに努めている。
11	学校は教育方針や教育活動の様子を便りやホームページ等で家庭・地域に知らせている。
12	お子さんは、困ったときや相談したいときに、友達や家族、先生等に相談している。
13	学校は地域の人材、地域の特色を生かしながら教育活動の充実を図っている。
教員への質問	
1	子供たちは、学校生活を楽しんでいる。
2	子供たちは、先生や友達の話を楽しんでいる。
3	子供たちは、丁寧にノートを書いている。
4	子供たちは、宿題を含め、家庭学習に取り組んでいる。
5	子供たちは、相手の気持ちを考えて行動したり話をしたりしている。
6	子供たちは、学校のきまりや公共のマナーを守って生活している。
7	子供たちは、友達や先生、地域の人に挨拶をしている。
8	子供たちは、体を動かして遊んだり、運動に取り組んだりしている。
9	子供たちは、安全や健康に気を付けて行動したり生活したりしている。
10	自分は分かりやすい授業づくりに努めている。
11	自分は、子供たちの様子を使いやホームページ等で保護者や地域に知らせている。
12	自分は、子供たちが困ったときや相談したいときに相談しやすいように気を配っている。
13	自分や学校は、地域の人材や地域の特色を生かしながら教育活動の充実を図っている。

教育目標の重点の達成状況と改善の方策

(1) 確かな学力 ―主体的に知識や技能を身に付け、自分で学べる子供―

問 1 2 3 4 10

【成果】

問 1「楽しい」の項目は、教育目標の重点の知徳体全てに関わる項目です。児童、保護者、教員ともに昨年度と同水準の高い結果となりました。しかし、ほとんどの学年で「楽しくない」と回答する児童も数名ずつおります。そのような児童に学習と生活両面で寄り添い、楽しさを感じることができるよう工夫していきます。

問 10「分かりやすい授業」の項目では、児童の回答が 3.6 と高い結果となりました。今年度は、「学びの深まり」を目指した授業づくりを研修のテーマとしています。児童の「分かった」「できた」が生まれる授業となるように努めていきます。

【課題と方策】

問 2「しっかり聞く」の項目では、昨年度と比べて教員の評価が上がりましたが、まだまだ児童の自己評価との隔たりが見られます。今後も継続した指導を行っていきます。

問 3「丁寧にノートを書く」の項目は、今年度から付け加えた項目です。児童の自己評価と保護者・教員との差が大きい結果となりました。ノート等を書く時間を確保することはもちろん、丁寧に書くことのよさを実感させることも配慮しながら指導していきたいと思います。

(2) 豊かな心 ―思いやりとしなやかさをもった心豊かな子供―

問 1 5 6 7 11 12 13

【成果】

昨年度と比較すると、問 5「思いやり」問 6「規律・マナー」問 7「挨拶」の項目で同水準以上の高い結果となりました。今年度のアクションプラン（徳）では、昨年度から引き続き「言葉遣い」に重点をおいて様々な取組を行っています。相手の気持ちを考えた言葉遣いや思いやりのある行動のよさを全校で共有し、みんなが気持ちよく生活していくための言動がさらに寺家っ子に広がるよう支援していきます。

【課題と方策】

問 13「地域」の項目では、昨年度と同水準ではありますが、寺家校区の人材や特色の素晴らしさを考えると、さらに自分たちの地域に誇りと愛着をもって成長してほしいと願うところです。1 学期には、地域の方々に教えていただいたネブタづくりや一緒に参加したネブタ流し、櫛原神社の祭礼やほたるいかにミュージアムへの校外学習等、地域の方々と触れ合ったり、地域に出かけて体験を通して学んだりした活動が数多くありました。もしかすると、これらの体験や学習を当たり前のことだと思っている児童が多いのかもしれませんが。これからは特に、「地域の方々と学ぶこと」や「地域の中で学ぶこと」を児童が自覚できるように工夫し、今まで以上に地域に親しみをもてるようにしていきたいです。

(3) 健やかな体 ―健康な体づくりに励み、命を大切にする子供―

問 1 8 9 11

【成果】

問 8「運動」の項目も、今年度から付け加えた項目です。児童、保護者、教員の回答が 3 以上の高い結果となりました。今年度のアクションプラン（体）は、「大縄跳び（8 の字とび）を 2 分間で跳ぶ回数を年度当初の 150%にする」を達成目標として設定し、日頃から目標をもって運動に取り組めるように工夫しています。今後も体を動かして遊んだり運動したりすることを楽しみ、目標をもって運動に取り組むことができるように支援していきます。

【課題と方策】

問 9「健康安全」の項目では、児童の自己評価と教員の評価に隔たりが大きいです。これは、児童の行動の多くが無意識に行われていることに理由があると考えられます。具体的場面を例に挙げると、学校では児童に「廊下は歩きます」とよく指導します。それは、走る姿がよく見られるからです。楽しみなことがあると無意識に走ってしまうのです。ここで大切なことは、無意識の走りをやめさせるではなく、歩くことをどのように意識させるかだと思います。繰り返し歩くことを伝えることはもちろん、歩くことで自分も友達も安全に生活できることに気付き、意識して行動につなげられるかだと思います。自他の命を大切にできるように粘り強く指導していきます。

令和 8 年度後期も、保護者や地域の皆様の期待に応えられるよう、教育活動の充実に努めてまいります。